

試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	普及・研究
課題名：カツオの漁場形成について			
<p>[要約]平成 20 年 3 月中旬～6 月にかけて、黒潮は N 型基調で推移し、4 月頃には八丈島付近まで南下すると見込まれる。</p> <p>カツオの来遊量（1 日 1 隻あたりの漁獲量）は平年を下回り、漁の本格化はやや遅れる模様である。漁場は房総沖をやや離れ、魚体は 3～4 月は 1.5～2kg、5 月以降は 1.5kg 台が主体となると予測される。</p>			
キーワード カツオ曳縄漁、平成 20 年漁期、漁海況、来遊量			
実施機関名 水産総合研究センター 資源研究室			
実施期間 2007 年度			

[目的及び背景]

本県の主要な漁船漁業であるカツオ曳縄漁業の効率的な操業を支援するため、3 月頃から操業が本格化する当該漁業について、調査船の「カツオ漁期前調査」、海況の見込み、他県のカツオ操業状況、カツオの資源動向等の情報を検討し、平成 20 年漁期における漁海況を予測する。

[成果内容]

1. 【海況】 現在、黒潮は大きな蛇行部がなく N 型流路となっている（図 1）。1 月に都井岬沖にみられた小蛇行の東進は明らかではないが（保安庁海洋速報）、(独)水産総合研究センターが開発・運用している海況予測図「FRA-JCOPE」や気象庁の予測によると、黒潮は 4 月頃に八丈島付近まで南下すると考えられる。房総半島沖では小蛇行の通過時に一時的に流路が大きく変動する。
2. 【漁況】 房総近海に来遊する群れは、①黒潮沿いに北上する沿岸ルート、②伊豆諸島付近を北上するルート、③沖合いを北上するルートがあると考えられている(図 2)が、近年、沿岸ルートの著しい不漁が続いている。
 本漁期の各都県の操業情報からみると、現在までのところ本格化している海域はなく、竿釣船の操業海域も遠いことから、カツオの来遊資源が大幅に遅れているか、低水準であることが考えられる。
3. 昨年から予測に取り入れている「川津港の 1～3 月上旬の小小以下の CPUE」と「3 月前半の太東埼 SE の黒潮の離岸距離」から求めた「3 月中旬～6 月の曳縄の CPUE(図 3)」の予測値は 107 kg/隻と算出されたこと（平年：140 kg/隻）、黒潮流路は今後も N 型基調で推移すると見込まれることから、今漁期の漁模様は平年より低めであると予測した。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内のカツオ曳縄漁船漁業

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

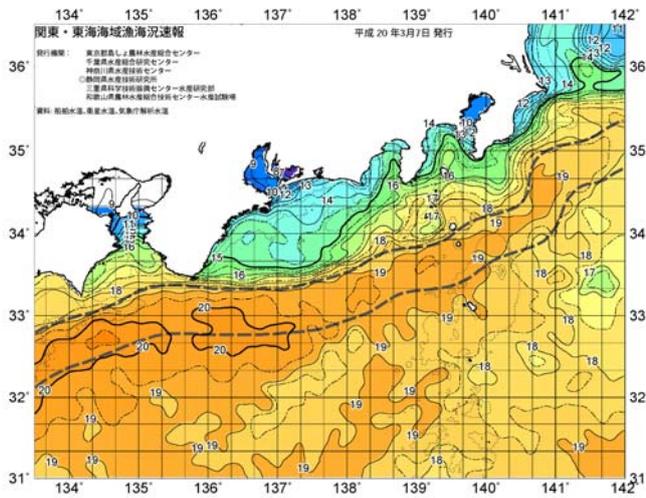


図1 最新(平成20年3月7日)の海況図

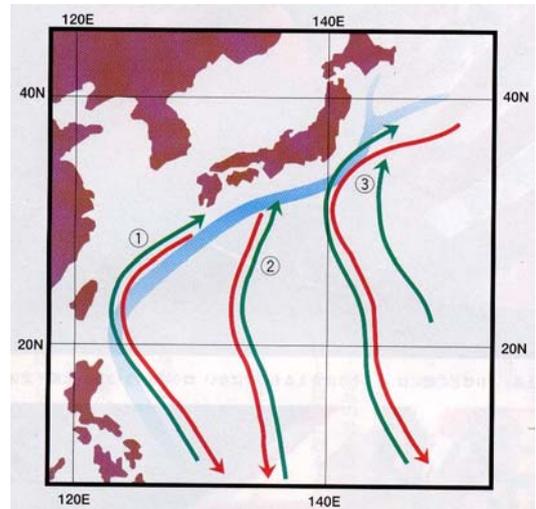


図2 カツオの来遊ルート

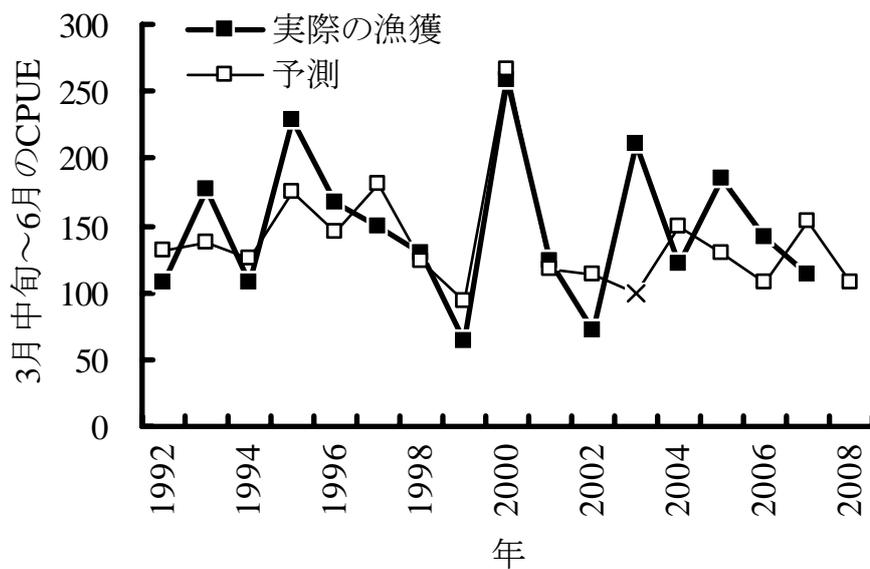


図3 川津港における3月中旬～6月のCPUE(「実際の値」と「予測値」)の推移

[発表及び関連文献]

「漁海況旬報ちば No.20-号外(平成20年3月8日)」

[その他]